

比例は日本共産党

党首討論 6面  
決起集会 8面  
選挙政策 7面  
争点Q&A 9面



第一声で訴える田村智子委員長(中央)と宮本徹(左)、谷川智行両比例候補＝1月27日、東京・池袋駅西口



聴衆の声援に応える(右から)志位和夫議長と、もとむら伸子、すやま初美の両比例候補＝1月27日、名古屋市中村区

総選挙8日投票

対決構図くっきり

# 自民党政治VS共産党

8日投票の総選挙。多くの政党が自民党政治に迎合し、右へ右への流れがおきているも、自民党政治対日本共産党の対決構図がうきぼりになっています。

右へ右への流れに対峙

高市政権は、かつてない大軍拡をすすめ「戦争国家」への道を暴走しています。これに対し、野党第1党の立憲民主党が公明党に吸収された「中道改革連合」は、自民党政治への対決軸さえありません。安保法制「合憲」、原発の再稼働、改憲論議の「深化」などを主張し、自民党政権を丸のみです。今後、自民と連立を組むこともあるかもしれない「斉藤鉄夫共同代表」とまで語っています。日本共産党の田村智子委員長は第一声(27日)で「こういう時こそ、右へ右への流れに正面から対峙(たいじ)し、ブレない政党が必要です。『比例は共産党』を広げてください」と訴えました。

富の集中正し消費減税

物価高から暮らしを守るうえで、消費税減税が大争点に浮上。ところが高市早苗首相は第一声で、消費税について一言もふれませんでした。消費税をめぐり、自民党は「公約」で2年間限定の飲食料品の税率ゼロを「検討」とするだけ。実施を確約せず、財源も明示していません。他の多くの党が「減税」を口では言いますが、まともな財源の提案はありません。田村委員長は訴えます。「国民そっちのけ、民主主義をないがしろにする高市政権に厳しい審判を下そう。日本共産党の躍進で、政治を変えるチャンスにしよう」

2面につづく



柿澤 勇人さん



福原幸三郎さん



阿部百合子さん



中島 京子さん



鈴木エイトさん

自民党と統一協会  
選挙協力の衝撃実態16 17  
関係議員全リスト30  
裏金候補も同時掲載

